

電子マネー利用実態調査 結果

1. 調査目的

電子マネーの利用実態を把握することにより、今後の中心市街地のまちづくりや商業振興の参考とする。

2. 調査期間

平成20年5月12日(月)～23日(金)

3. 調査対象

福井商工会議所部会委員企業344社の従業員各5名、計1,720名

4. 調査方法

調査票を郵送し、郵送またはFAXにより回答

5. 実施機関

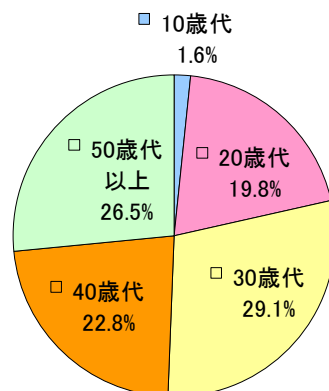
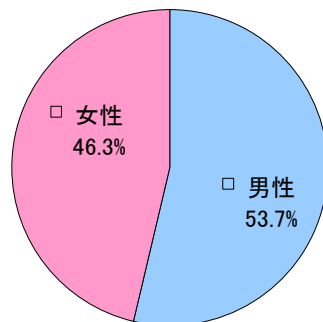
まちづくり福井株式会社

福井市中央1-4-13 響のホール6階

問合せ先 電話(0776)30-0330

6. 回収

734名 (回収率42.7%)

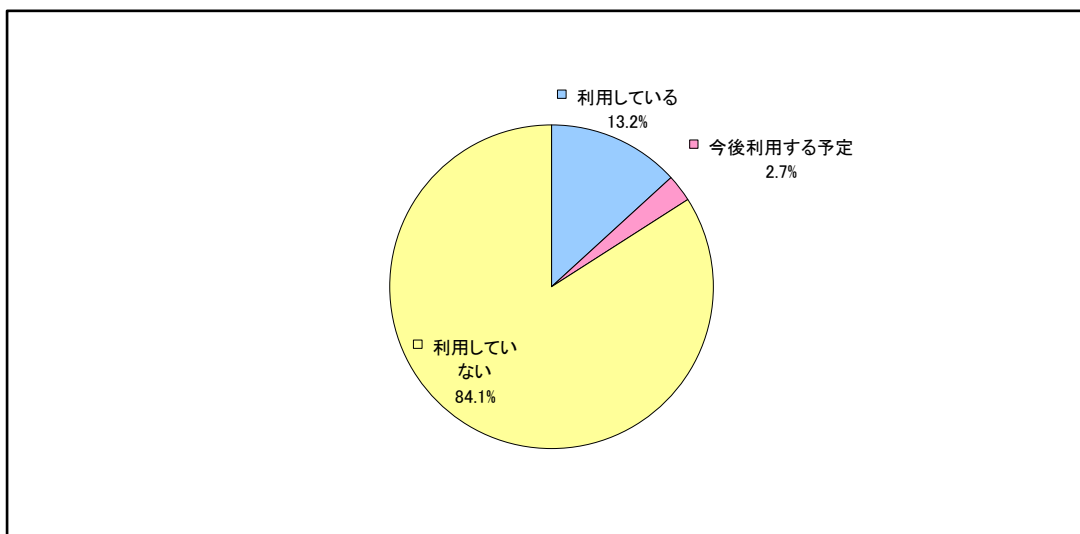


※電子マネーとは：デジタルデータ化された貨幣。インターネット上でデータとして流通する形態のものと、IC カードに情報を書き込みクレジットカードのように利用する形態のものがある。デジタルキャッシュ。

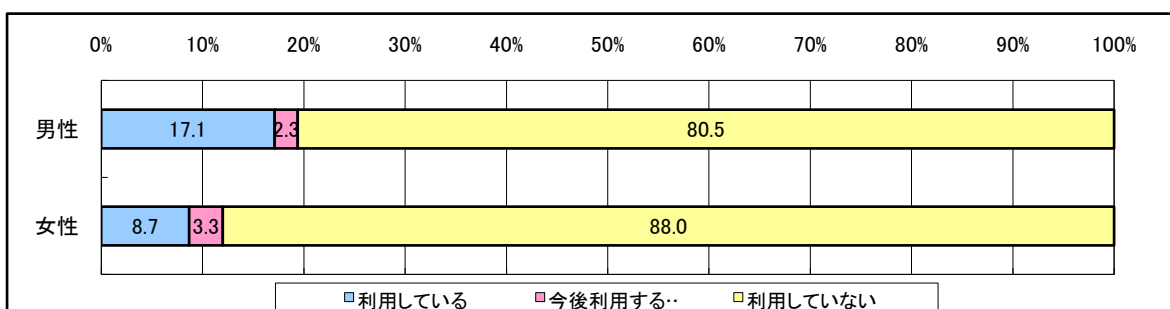
7. 調査結果の概要

(1) 電子マネーの利用状況

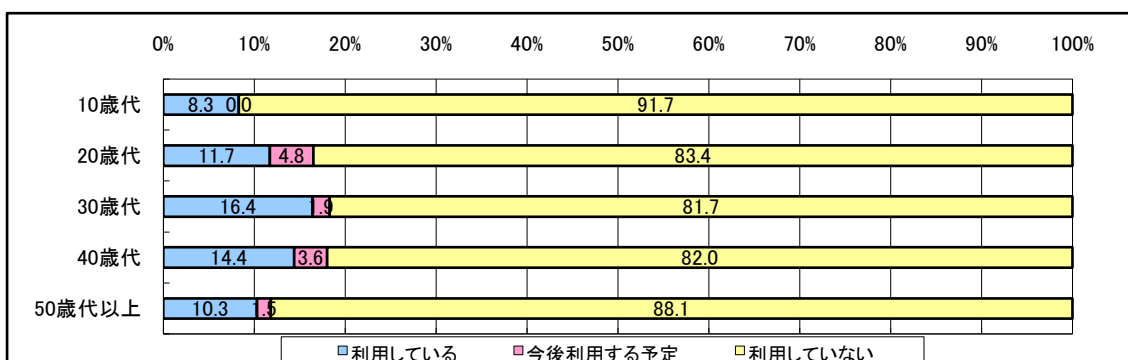
電子マネーの利用状況については、「利用している」が13.2%、「今後利用する予定」が2.7%と、「利用」「利用予定」は全体の約16%にとどまった。



男女別にみると、「利用」「利用予定」と回答したのは、男性19.4%、女性12.0%と男性の方が多い傾向がみられた。

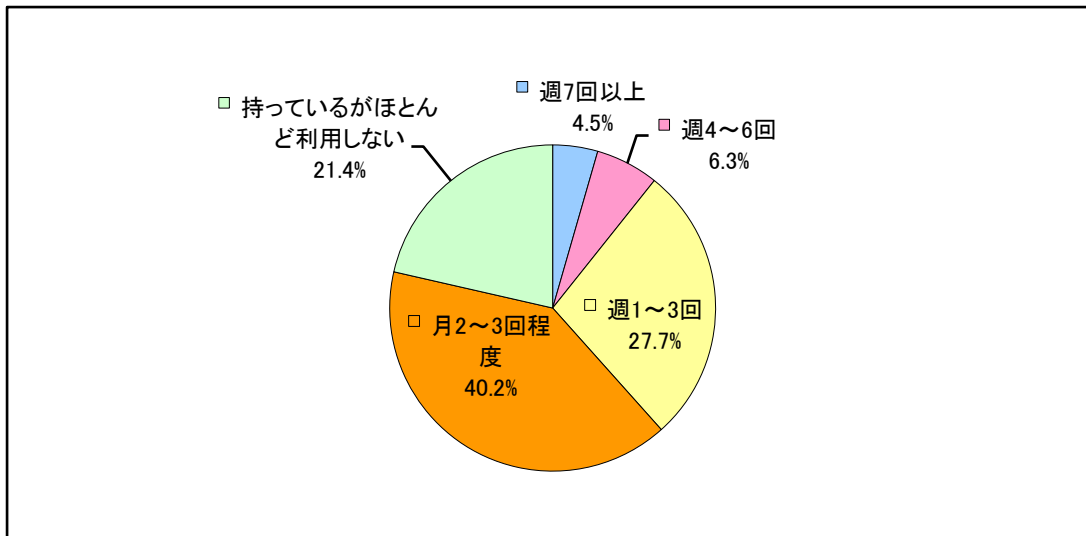


年代別では、30歳代が18.3%と最も多く、次いで40歳代18.0%、20歳代16.5%となった。

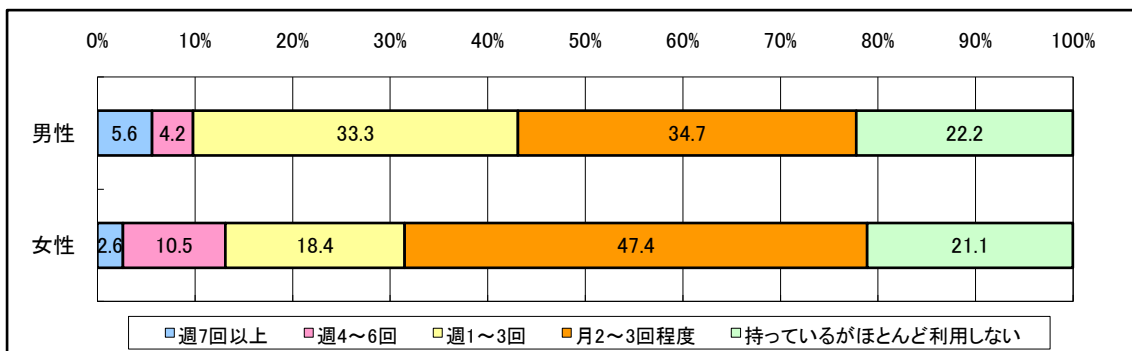


(2) 電子マネーの利用頻度・利用予定

(1) で「利用」「利用予定」と回答した人に、利用頻度・利用予定を尋ねたところ、多い順に、「月2～3回程度」が40.2%、「週1～3回」が27.7%、「持っているがほとんど利用しない」が21.4%となった。

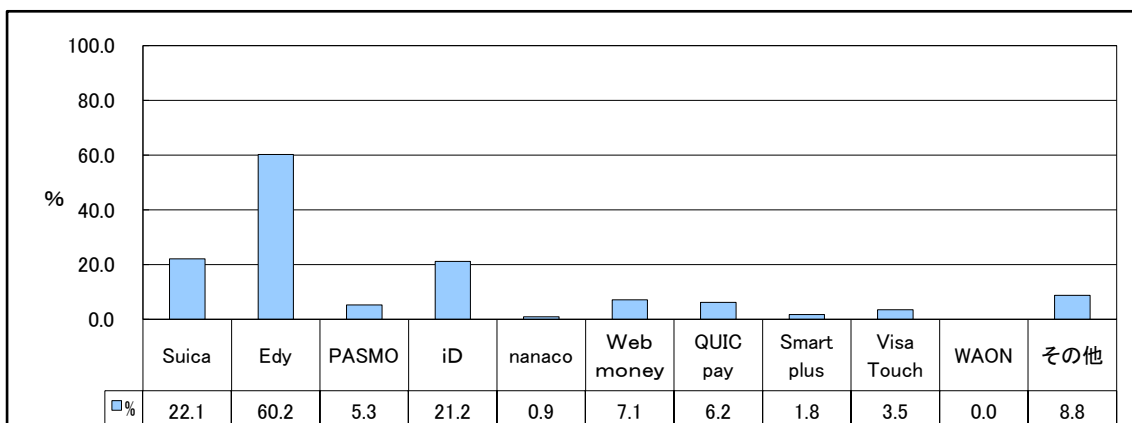


男女別では、週1回以上利用する男性が43.1%であるのに対し、女性は31.5%と若干少なくなっている。

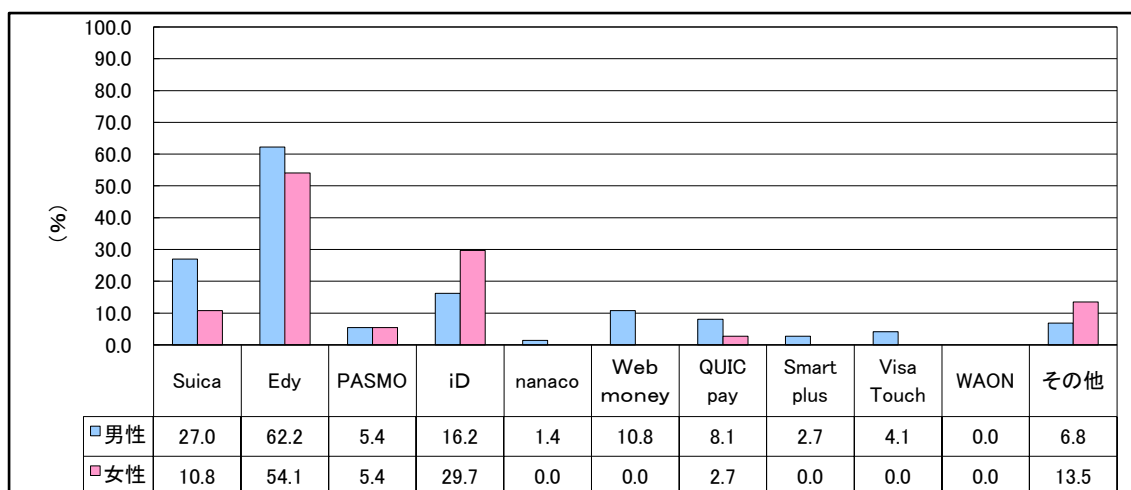


(3) 利用している電子マネー

利用している電子マネーについては、全体の60.2%が「Edy」、次いで22.1%が「Suica」、21.2%が「iD」となった。

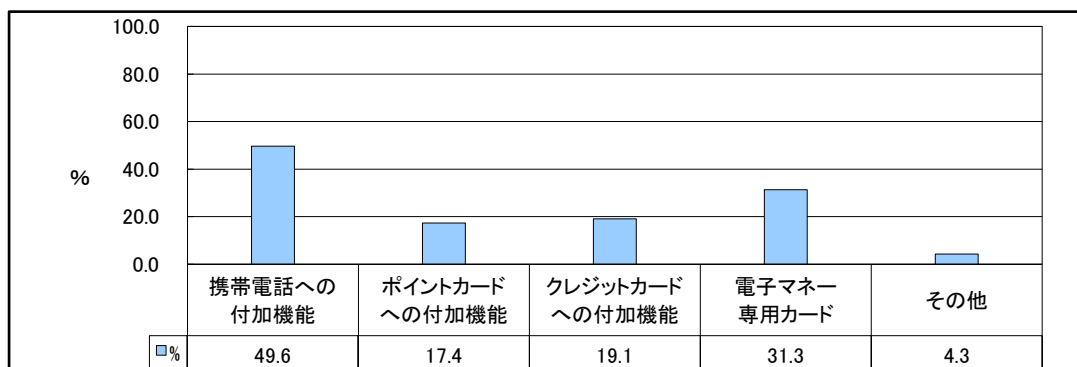


男女別にみると、プリペイド式の「Suica」「Edy」は男性が多く、ポストペイ式の「iD」は女性が多くなった。「Suica」については、JR系電子マネーとして、関東、関西、中国エリア等利用エリアが限定されていることから、出張など県外で利用するために保有していると考えられる。



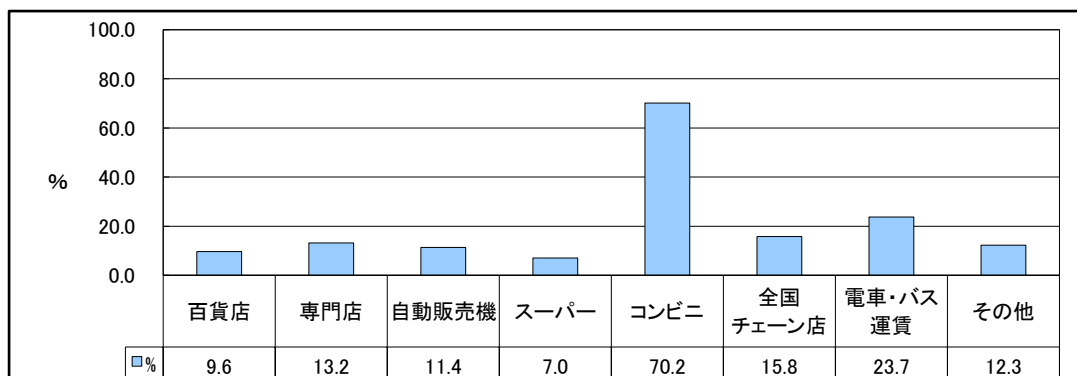
(4) 電子マネーの形態

利用している電子マネーの形態については、全体の約5割（49.6%）が「携帯電話への付加機能」、次いで31.3%が「電子マネー専用カード」、19.1%が「クレジットカードへの付加機能」となった。

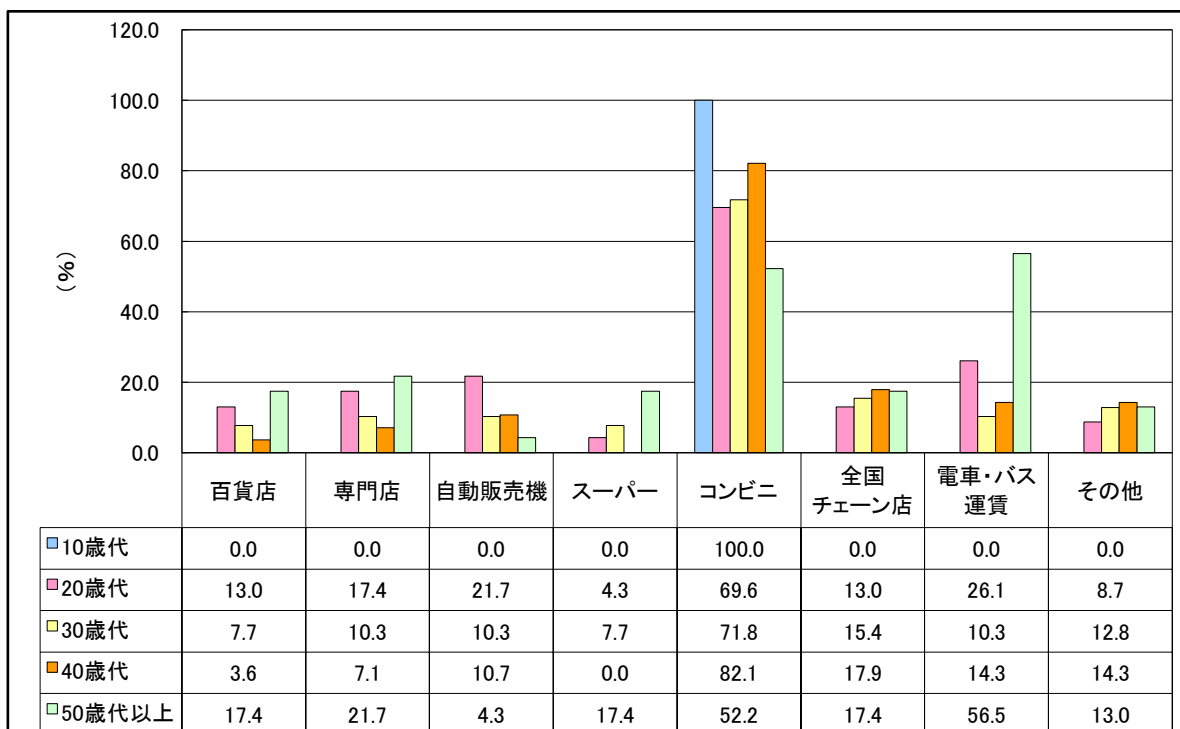


(5) 電子マネーを使う場所

電子マネーを使う場所については、全体の約7割（70.2%）が「コンビニ」と特に多く、次いで23.7%が「電車・バス運賃」、15.8%が「全国チェーン店」となった。

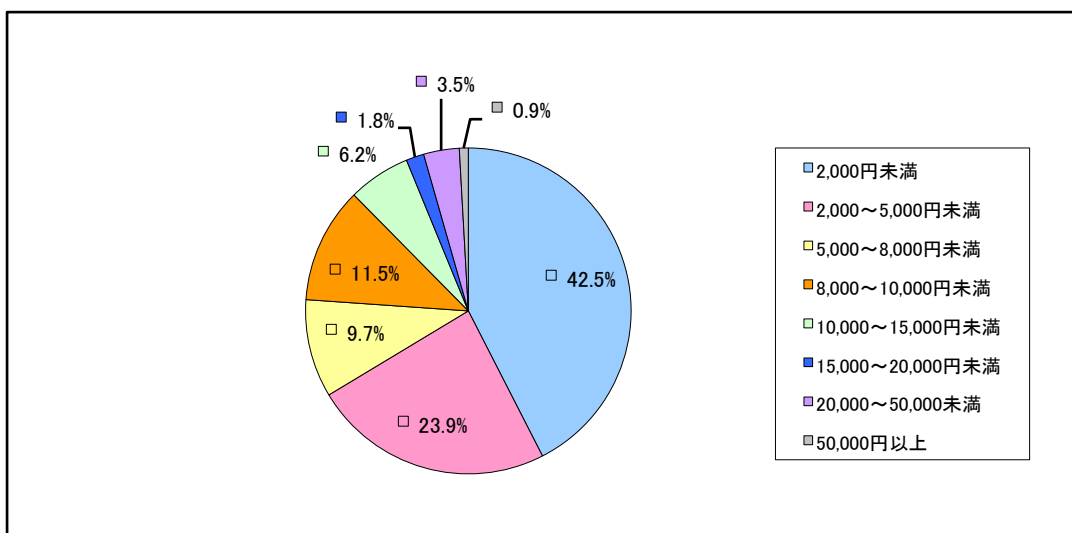


年代別にみると、40歳代まではコンビニでの利用が多くなっているが、50歳代では電車・バス運賃が最も多くなっている。(3)と同様、県外での利用が中心と考えられる。



(6) 1か月当たりの利用額

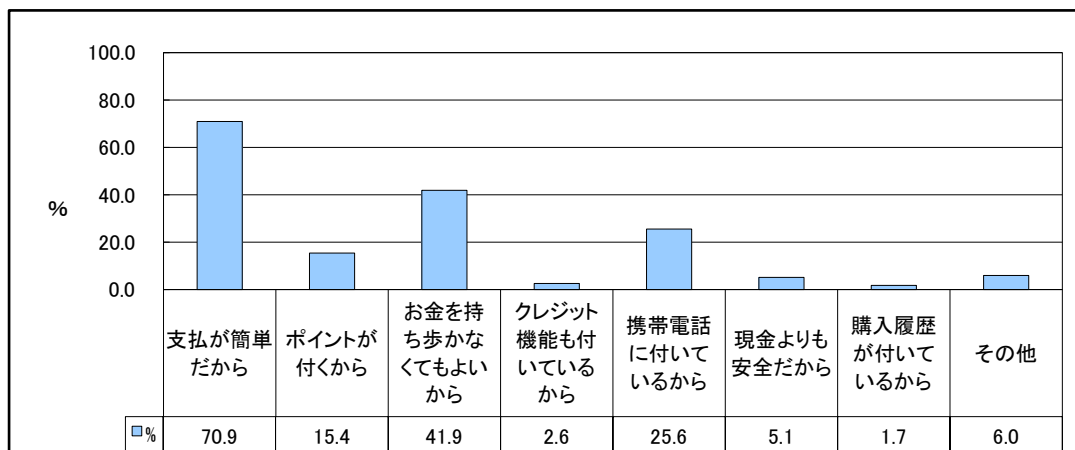
1か月当たりの利用額については、多い順に、「2,000円未満」が42.5%、「2,000～5,000円未満」が23.9%、「8,000円～10,000円未満」が11.5%となった。



(7) 電子マネーを利用する理由

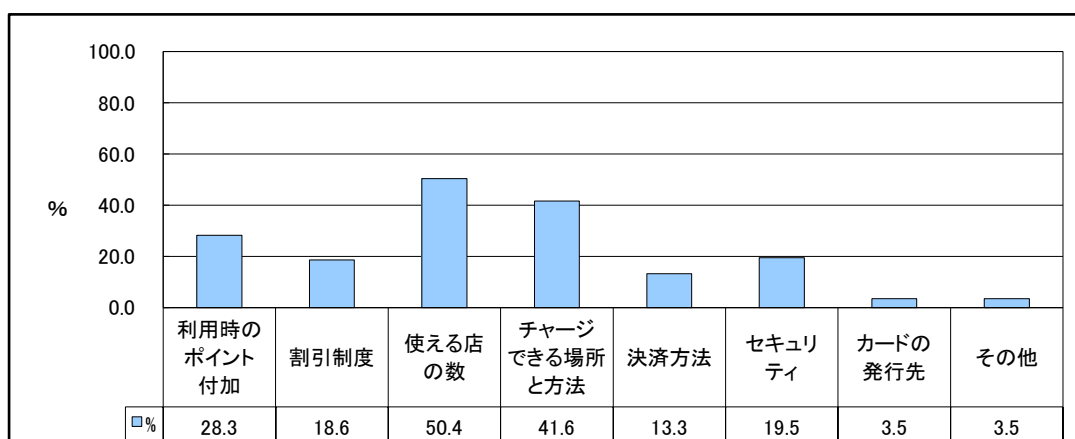
電子マネーを利用する理由については、全体の約7割(70.9%)が「支払が簡単だから」、次いで41.9%が「お金を持ち歩かなくてよいから」、25.6%が「携帯電話に

に付いているから」となった。



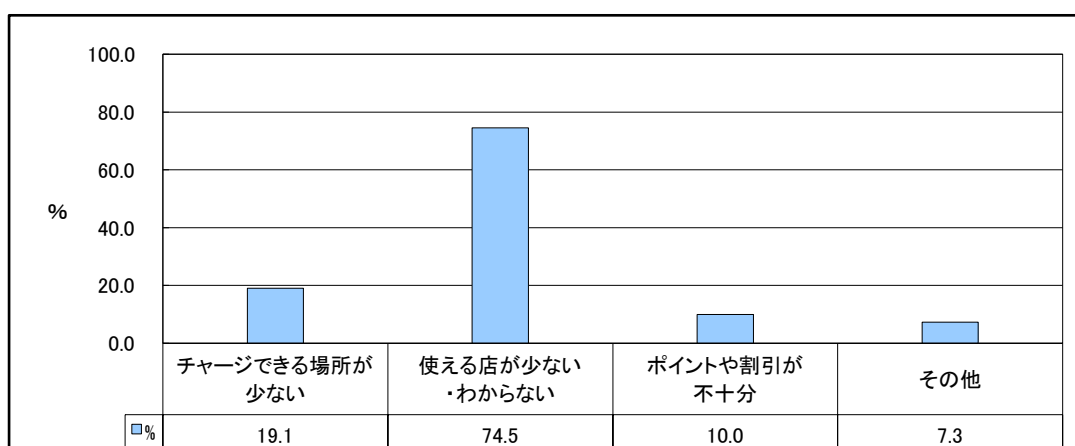
(8) 電子マネーサービスを選ぶときの重視するポイント

電子マネーサービスを選ぶとき重視するポイントについては、全体の約5割（50.4%）が「使える店の数」、次いで41.6%が「チャージできる場所と方法」、28.3%が「利用時のポイント付加」となった。



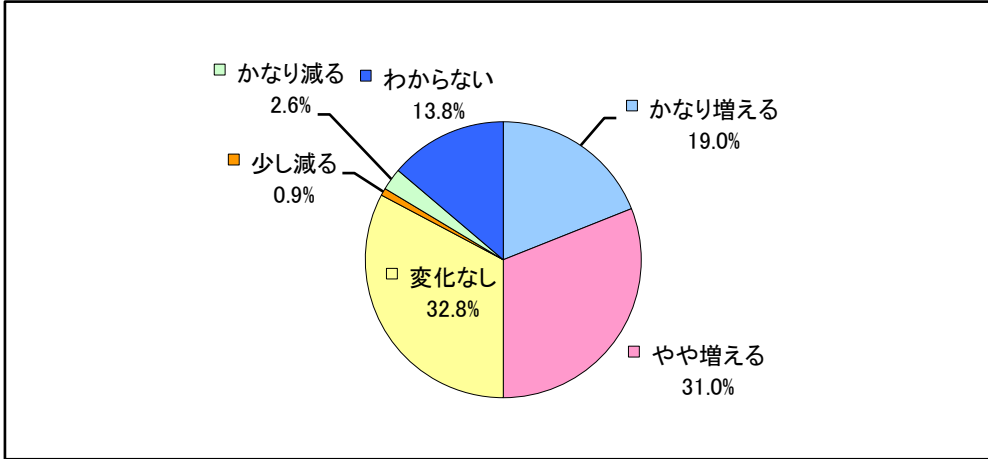
(9) 福井で使うときの問題点は何ですか？

福井で使うときの問題点については、全体の約4分の3（74.5%）が「使える店が少ない・わからない」、次いで19.1%が「チャージできる場所が少ない」、10.0%が「ポイントや割引が不十分」となった。

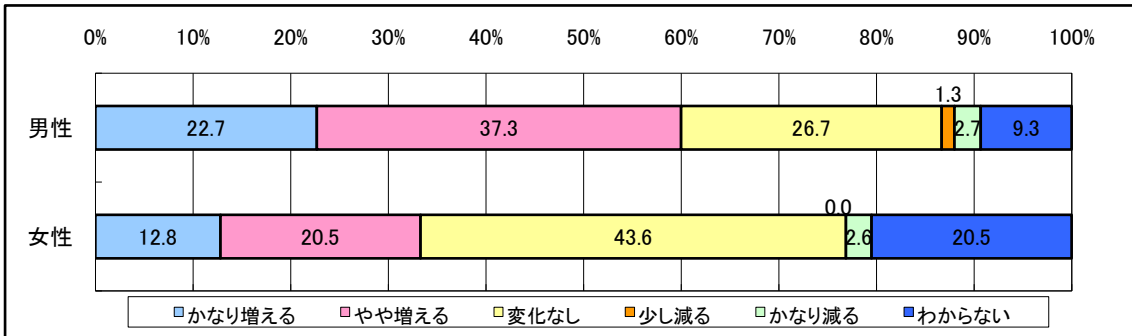


(10) 今後の利用頻度

今後の利用頻度については、「かなり増える」が19.0%、「やや増える」が31.0%と「増える」と考える人が全体の5割であるのに対し、「少し減る」「かなり減る」と考える人は全体の3.5%程度だった。

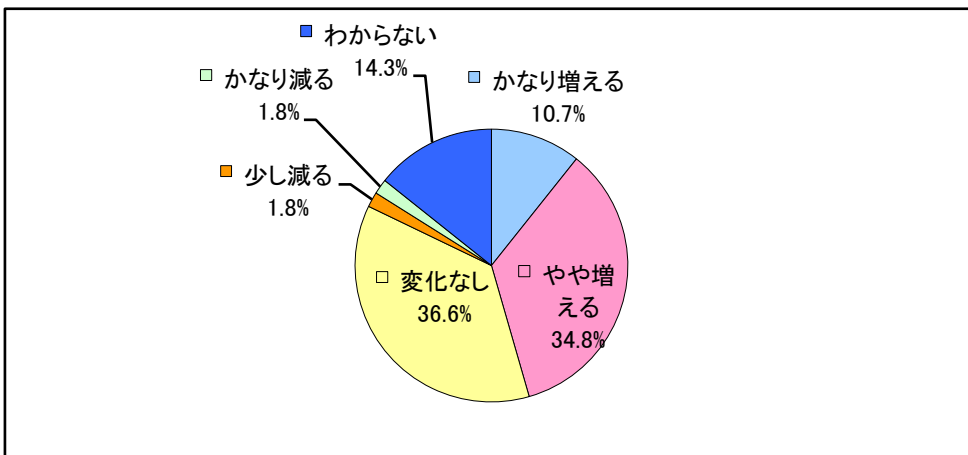


男女別では、男性が「かなり増える」「やや増える」あわせて6割が増えると回答したのに対し、女性は33.3%と男性に比べ少なくなっている。



(11) 今後の利用金額

今後の利用金額については、「かなり増える」が10.7%、「やや増える」が34.8%と「増える」と考える人が全体の45.5%であるのに対し、「少し減る」「かなり減る」と考える人は全体の3.6%程度だった。



(12) 電子マネーを利用しない理由

(2) で「電子マネーを利用していない」と回答した人に、利用しない理由を尋ねたところ、全体の67.7%が「必要がない(現金やクレジットカード決済)」、次いで30.0%が「システムを知らない」、16.6%が「決済方法やセキュリティが不安」となった。

